

中学校 地理的分野 学習指導案（新学習指導要領版）

小単元：日本の地域的特色と地域区分(配当 12 時間)

グローバル化が進む世界との結び付き (9~10/12)

◆目標

中学校学習指導要領の社会科地理的分野において、「日本の地域的特色と地域区分」について、今回の改訂では「国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解すること」とされ、「陸上、海上輸送などの物流や人の往来」および「国内各地の結び付き」が示されている。

グローバル化する世界の中でも、日々の暮らしや産業を支える世界との結び付きは、海洋国家である我が国にとって必要不可欠な営みであり、交通・通信、そして輸送が滞れば食料やエネルギーといったライフラインへの影響を考えるだけでも死活問題となる。

そこで、海事輸送の重要な役割といった窓口から日本と世界の結び付きについて学習することで、グローバル化する世界にある日本の現状と未来について考える学習とした。

なお、今回の改訂では、資質・能力の基礎を育成する点に重点が置かれ、「情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける」「選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う」といったことが社会科の目標でも据えられ、いわゆるアクティブ・ラーニングの視点に立った授業実践が期待されていることにも配慮した。

◆評価規準

○知識・技能

- ・日本で暮らす人々の日常生活に欠かすことのできない物資やエネルギー資源の入手経路や、また、日本で生産された工業製品などの輸送経路を調べることができる。
- ・物流の流れの中で、それぞれの輸送対象の特色に応じて輸送手段に違いがあることが分かる。
- ・海外との輸送手段としては、船舶と航空機があり、国内では自動車、鉄道、船舶、航空機といった多様な輸送手段があることが分かる。

○思考・判断・表現

- ・輸送対象によって輸送距離、輸送時間、輸送コスト、地域性などによる輸送手段の違いがあり、それらの合理的な組み合わせを考えることができる。
- ・海洋国家である日本がグローバル化する世界の中で、貿易をはじめとしたモノ、人、情報とどのように関わり、どのような結び付きを大切にしていくなかについて考えを述べ、話し合うことができる。
- ・鉄道網、高速道路網、航路・航空路網などの整備が、輸送手段相互の合理的な関係や交通拠点

の配置、都市間、地域間の物流の発展に貢献していることを考察できる。

○主体的に学習に取り組む態度

- 世界との結び付きについて、身近な生活や暮らしを支える資源・エネルギーや商品を通して生活の中で実感をもち、今後、グローバルな社会に生きていくことの自覚と学びに取り組む態度をもとうとする。
- 海外との輸送手段、国内における輸送手段の多様性に着目して、グローバル化が進む世界からの視点と、島国である国内の視点から、海洋国家である日本が今後も豊かな国として発展していく可能性と課題について新たな問いを立てて解決しようとする態度をもつ。

◆指導・評価計画（各時間）

日本の地域的特色と地域区分 指導計画例（12時間）

時数	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
1	<p>■導入の活動 日本がどのような国かイメージしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日本のさまざまな地域的特色を、地域と分布に着目しながら、大きく捉える。 ●日本全体の地域的特色を理解するために、「日本には、なぜさまざまな地域的特色があるのでしょうか」という探究課題を立て、見通しをもって主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の特色に関して集めた資料を使って関連図を作成し、日本にはさまざまな特色があることを理解している。 ●日本の地域的特色に関して設定した探究課題の答えを予測し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。
2 3	<p>1 地形から見た日本の特色</p> <p>地震の震源や火山が連なる地域 険しい日本の山地 急で短い日本の川 さまざまな地形が見られる平地 変化に富む日本の海岸 海洋国・日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日本は変動帯に属して、地震や火山の多い不安定な大地上に位置していること、フォッサマグナを境にして、山脈の走る方向が違うことなどを資料から読み取る。 ●日本の川は、大陸と比べて急で短く、洪水を引き起こしやすいため、上流ではダムが建設されている地域が多いことを理解する。 ●日本には、河川などに運ばれた土砂で形成された規模の小さな平野が臨海部に、また山に囲まれた地域には盆地などが各地に分布していることを分布図などから読み取る。 ●日本の国土は海に囲まれ、多くの島々から構成されるとともに多様な海岸が見られること、近海には海底に大陸棚が広がり、寒暖の海 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の自然環境に関する特色を主題図や分布図から適切に読み取り、日本の山地・山脈、川、平地、海岸の分布や特色、海洋に囲まれた国土の特色について理解している。 ●日本の地域的特色を、山地・山脈、河川、平地、海などに着目して、これらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。

		<p>流が出合い世界的な漁場となっていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の地域的特色を，山地・山脈，河川，平地，海，災害などの分布に着目して，これらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。 	
4	<p>2 気候から見た日本の特色</p> <p>日本が属する温帯 地域によって異なる日本の気候</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の多くの地域は温帯に属し，降水量も多く，森林，樹木が成長しやすい環境にあることを雨温図や景観写真などから読み取る。 ● 日本列島にはなぜ六つの気候が存在するのかを，日本の山地，山脈の分布等に着目して考察できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の気候の特色を景観写真や雨温図，気候区分図から読み取り，日本の気候の特色を理解している。 ● 日本列島が六つの気候帯に大きく区分できる理由について日本の山地・山脈の分布や細長い地形などに着目して多面的に考察している。
5	<p>3 自然災害と防災・減災への取り組み</p> <p>さまざまな自然災害 被災地へのさまざまな支援 防災対策と防災意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本は大規模な地震や津波，台風など多様な自然災害が発生しやすい地域が多く，早くから，防災設備の充実，ハザードマップの作製など防災，減災対策に努めてきたことに気付く。 ● 国や地方公共団体の諸機関や担当部局，地域の人々やボランティアが連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを読み取り，日本の防災対策を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 諸資料から，日本の多様な自然災害と防災への取り組みなどに着目し，日本は自然災害が発生しやすい地域が多く，その分防災・減災対策に努めていることを理解している。 ● さまざまな人々が連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを理解している。
6	<p>4 人口から見た日本の特色</p> <p>人口構成や分布の変化 過密地域と過疎地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化，人口分布に着目して，少子高齢化，過疎，過密といった日本の課題を読み取る。 ● 過疎，過密地域の抱える課題について多面的・多角的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化などの資料から，少子高齢化の実態を，国内の人口分布を示す資料を通して過疎・過密問題の実態を読み取り，日本の人口に関する課題を理解している。 ● 過疎，過密地域が抱える課題について，多面的・多角的に考察している。
7	<p>5 資源・エネルギーから見た日本の特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のエネルギー自給率や発電量の内訳を示す資料などから，日本 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の資源・エネルギー利用の現状や日本の発電方法に着目して，

	<p>かたよる鉱産資源の分布 資源輸入大国・日本 日本の発電方法の変化 資源の活用と環境への配慮</p>	<p>の抱えている課題とその対策について多面的・多角的に理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解する。 	<p>日本の課題について多面的・多角的に考察している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の抱える環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解している。
8	<p>6 産業から見た日本の特色</p> <p>活性化を図る農林水産業 地域的な広がりを見せる工業 大都市圏に集中する商業・サービス業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の農業，工業が抱える課題について食料自給率や主な工業地帯，地域の分布図から読み取る。 ● 日本の第三次産業の盛んな地域について，その背景を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の食料自給率が低下していること，産業の空洞化が起きていることなどを諸資料から読み取り，知識を得ている。 ● 日本の第三次産業が盛んな地域について，その理由を考察している。
9 10	<p>◎ グローバル化が進む世界との結び付き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちが暮らす身近な地域（〇〇市，町，村）と世界とのつながり（物流，情報，人々の交流）から，グローバル化が進む世界との結び付きについて考える。（コンビニの商品から） ● 具体的な統計資料等から貿易品目（物流），輸送手段を調べることから，海洋国家である日本と世界の結び付きについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な生活からグローバル化する世界との結び付きをイメージできる。 ● DVD の視聴から海洋国家日本の特色が理解できる。 ● 輸送対象の特色に応じて輸送手段に違いがあることを考える。 ● グローバル化が進む世界で，どのように世界と関わっていくか主体的に考える。
	<p>7 交通・通信から見た日本の特色</p> <p>使い分けられる交通 発達する日本の交通網 情報通信網の発達と生活の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸送手段に違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して考察する。 ● 新幹線，高速道路，航路，航空路網，情報通信網などの整備が進んでおり，日本は海外と空や海の交通網，そして通信網が集中する拠点の一つに数えられていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本で輸送手段に違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して多面的・多角的に考察している。 ● 日本の交通網の整備が進んでおり，世界的な拠点の一つになっていることを理解している。
11	<p>8 日本を地域区分しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分の事例を学び，地域区分をする技能を身に付ける。 ● ①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信につい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。 ● ①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の

		て、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。	共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。
12	■まとめの活動 日本の地域的特色を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 「まとめの活動」を通してこれまでの学習を振り返り、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し、理解する。 ● 日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、誤解を持つ外国人に日本を紹介する文章として表現する。 ● よりよい社会の実現を視野に、日本の地域的特色と地域区分の学習内容を振り返って探究課題を主体的に追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を、図にまとめて振り返り、日本の地域的特色を理解している。 ○日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目し、それらを関連付けて「外国人の誤解を解く」という形で多面的・多角的に考察し、具体的に表現している。 ○単元冒頭に立てた予測をはじめとする、自らの学習を振り返りながら、粘り強く考察することを通して主体的に探究課題を追究し、社会に関わろうという態度を示している。

※東京書籍 令和3年度用『新しい社会 地理』年間指導計画作成資料 より

◆本時指導案 グローバル化が進む世界との結び付き (9~10/12)

過程	○学習課題・活動 ・学習内容	◎資料 ◆指導上の留意点
導入 8分	<p>○「〇〇」(区市町村名)に住む皆さんが日常生活で、「世界と結び付いているなー」と思う時ってどんな時ですか？(例えばコンビニに買い物に行くと、「世界と結びついているなー」と思いませんか?)</p> <p>○「世界をつなぐ海上輸送」DVDを見ての感想(ワークシート1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本での毎日の暮らしに必要な商品やエネルギー資源は、原材料を海外からの輸入に頼っている。 ・貿易ができなかったら日本人の生活はかなり苦しい。 ・海上輸送がこれほど日本の暮らしを支えているとは知らなかった。 	<p>◆身近な生活感を引き出す。</p> <p>◎DVD「世界をつなぐ海上輸送」(第1章)</p> <p>◆海上輸送についての興味・関心を高める。海洋国家に暮らす意識をもたせる。</p>
展開 30分	<p>○日本の貿易の現状(相手国や取扱品目)を確認しよう。</p> <p>○海洋国家である我が国の貿易での物流の特色について、海上輸送貨物と航空輸送貨物の資料(貿易総額、貿易総量トンキロなど)からどんなことが分かるか話し合い、ワークシートにまとめよう。(ワークシート2)</p> <p>ア) 貿易総額について</p> <p>イ) 貿易総量について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空輸送貨物は貿易総量に比較して貿易総額が多い。 ・海上輸送貨物は資源や機械、食料など重量やかさ張る貨物だ。 ・貿易構造(貿易品目の推移から)の変化が進んでいる。 <p>ウ) 海上輸送と航空輸送のメリットとデメリットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上輸送品目とコスト、航空輸送品目とコストから考える。 <p>○グローバル化が進む世界では、人の往来や貨物・物流以外で、世界と結び付いている分野にはどんなものがあるだろうか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からのテレビ中継でニュースやスポーツがすぐ伝わる。 ・ネットショッピングで父は海外からよく商品を買っている。 ・姉はスカイプで毎晩留学した友達とおしゃべりしている。 	<p>◎輸出入における日本の海上輸送統計(日本海事広報協会) 資料1</p> <p>◎日本の各工業地域の生産物と生産額(一部)(経済産業省) 資料2</p> <p>◎産業をささえる港(日本港湾協会) 資料3</p> <p>◎輸出入の船舶貨物品目別統計(日本海事広報協会) 資料4</p> <p>◎日本の港湾地図(国土交通省) 資料5</p> <p>◎日本の空港地図(国土交通省) 資料6</p> <p>◎日本からの主な世界航空路(成田国際空港の例)(国土交通省) 資料7</p> <p>◆暮らしの視点から考えさせたい。</p> <p>◎インターネット利用率(総務省) 資料8</p> <p>◎ネットショッピングの利用世帯割合と1世帯当たりの支出総額の推移(総務省) 資料9</p> <p>◎留学生に関する調査(日本学生支援機構)</p> <p>https://www.jasso.go.jp/ryugaku/statistics/index.html</p>
まとめ 12分	<p>○もしも世界の国々が貿易をやめて、鎖国状態になったら、日本で暮らす私たちの暮らしはとなると考えますか？(ワークシート3)</p> <p>○本時の学習から海洋国家日本の「〇〇」(区市町村名)で暮らす私たちはどんな学習(学び)をしていくことが大切だと考えますか。(ワークシート4)</p>	<p>◆自分事として考えるきっかけとなる発問を心掛ける。</p>

「グローバル化が進む世界との結び付き」 ワークシート

() 組 氏名 _____

1. DVD を視聴して、どんなことを考えましたか？（感想、意見、疑問など）

2. 海上輸送（船舶）と航空輸送（航空機）の特色をまとめよう。

	輸送経費	輸送時間	貿易量	貿易額	必要な設備・その他
船舶 (海上輸送)					
航空機 (航空輸送)					

3. 今後、日本が鎖国のように世界との交流をやめてしまったらどんな問題が生じると考えますか？

4. この時間の学習キーワード、キークエッションを参考にして、本時の学習から海洋国家日本の嵐山町で暮らすわたしたちはどんな学習（学び）をしていくことが大切だと考えますか。あなたの考えたこと、気づいたことを書いてください。

（疑問点 質問事項 もっと学びたい点 自分たちの生活に影響している事柄を考えて）

キーワード **日本の主な輸出品** **日本の主な輸入品** **海上輸送の特色** **航空輸送の特色**

日本や世界の情報通信網の整備 **情報設備の地域間格差** **世界貿易機関**

キークエッション 「もしも世界の国々が貿易をやめて、鎖国状態になったら、日本で暮らす私たちの暮らしはどうなると考えますか？」

◎ _____

◎ _____

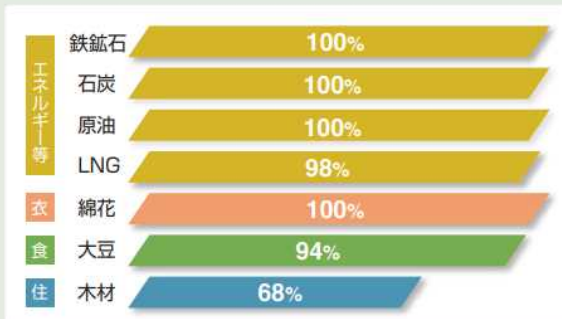
◎ _____

◎ _____

資料1 輸出入における日本の海上輸送統計

3 海外物資に頼るわが国の生活と産業

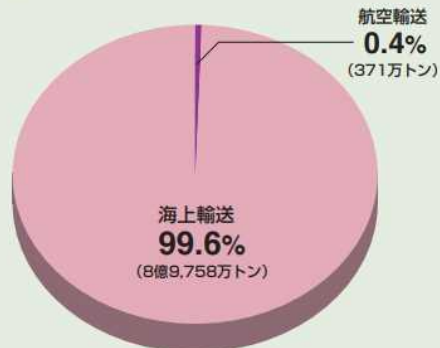
資源に乏しい日本は、「衣食住」のもととなる原材料のほとんどを海外から船で輸入しています。



主な資源の対外依存度

4 輸出入のほとんどが海上輸送

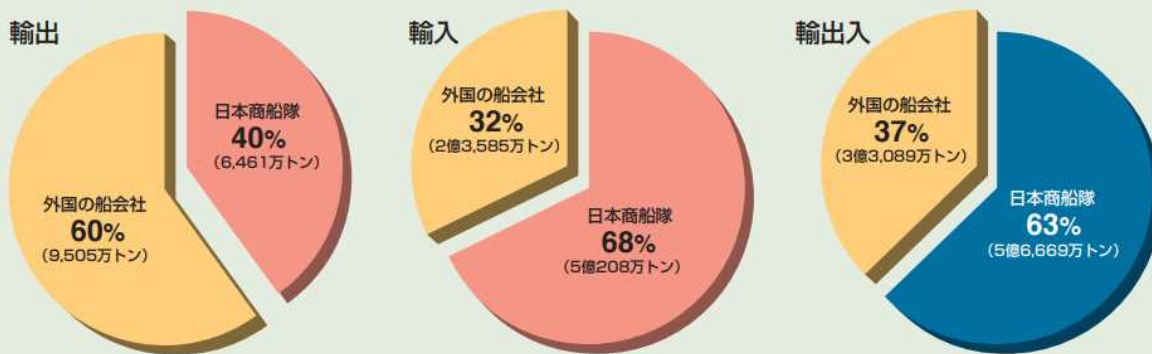
日本の輸出入のほぼ 100%を海上輸送が担っています。



日本の貿易量における海上輸送の割合

5 輸出入貨物の約6割を輸送

日本の輸出入貨物の約6割を日本商船隊が輸送。この割合は「積取比率」と呼ばれています。



日本商船隊の積取比率

資料2 日本の各工業地域の生産物と生産額（一部）

平成26工業統計表「工業地区編」データ【経済産業省大臣官房調査統計グループ】（平成28年4月28日公表）
 [GO TO INDEX]

第1表 都道府県別、産業中分類別統計表

都道府県	産業分類	面積	事業所数	従業者数		製造品出荷額等			現金給与総額	有形固定資産		付加価値額		
				(人)	(%)	(百万円)	(%)	従業者1人当たり金額(千円)		産業別特化係数	高	資本装備率	(従業者29人以下)	付加価値生産性(千円)
00	全国計 00 製造業計	372,960	202,410	7,403,269	5.774	305,139,989	100.0	40,040	-32,686,200	64,109,359	11,561	92,288,871	12,466	
00	全国計 09 食品品製造業	372,960	27,115	1,112,433	0.888	25,936,077	8.5	22,771	-3,065,452	6,059,150	7,087	8,763,331	7,878	
00	全国計 10 飲料・たばこ・飼料製造業	372,960	4,128	99,451	0.078	9,596,768	3.1	67,654	-408,131	1,838,826	30,487	2,657,848	26,725	
00	全国計 11 繊維工業	372,960	13,430	268,135	0.209	3,822,304	1.3	13,900	-722,416	971,022	6,726	1,453,524	5,421	
00	全国計 12 木材・木製品製造業(家具を除く)	372,960	5,547	91,497	0.071	2,520,040	0.8	26,977	-312,704	433,920	10,840	748,271	8,178	
00	全国計 13 家具・装備品製造業	372,960	5,550	96,824	0.076	1,915,042	0.6	19,292	-350,607	410,606	8,277	721,964	7,456	
00	全国計 14 パルプ・紙・紙加工品製造業	372,960	5,969	181,868	0.142	6,974,353	2.3	37,588	-744,890	2,742,306	21,599	2,061,735	11,336	
00	全国計 15 印刷・同関連業	372,960	11,664	268,880	0.210	5,415,918	1.8	19,520	-1,078,870	1,515,978	9,024	2,377,280	8,941	
00	全国計 16 化学工業	372,960	4,669	343,416	0.268	28,122,960	9.2	80,350	-1,903,287	7,142,156	23,352	9,784,412	28,491	
00	全国計 17 石油製品・石炭製品製造業	372,960	931	24,830	0.019	18,659,085	6.1	660,311	-163,096	1,985,457	121,000	667,227	26,872	
00	全国計 18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	372,960	12,906	405,909	0.017	11,532,576	3.0	27,019	-1,508,626	2,022,016	9,900	4,001,090	10,054	
00	全国計 19 ゴム製品製造業	372,960	2,525	110,987	0.087	3,207,290	1.1	28,352	-488,843	710,548	8,038	1,325,546	11,943	
00	全国計 20 なめし革・同製品・毛皮製造業	372,960	1,394	22,380	0.017	347,518	0.1	15,148	-61,811	33,921	3,516	123,961	5,534	
00	全国計 21 窯業・土石製品製造業	372,960	9,974	237,733	0.185	7,332,194	2.4	30,135	-1,034,955	2,241,994	16,705	2,935,412	12,348	
00	全国計 22 鉄鋼業	372,960	4,222	214,988	0.168	19,202,162	6.3	88,957	-1,192,280	5,762,826	32,779	3,521,662	16,381	
00	全国計 23 非鉄金属製造業	372,960	2,594	138,587	0.108	9,421,951	3.1	67,297	-719,007	2,289,215	19,688	1,923,593	13,880	
00	全国計 24 金属製品製造業	372,960	26,797	576,707	0.450	13,932,776	4.6	23,533	-2,356,153	3,052,938	9,499	5,387,481	9,342	
00	全国計 25 は人用機械器具製造業	372,960	7,141	308,841	0.241	10,103,055	3.3	32,256	-1,581,674	2,399,949	9,829	3,764,820	12,190	
00	全国計 26 生産用機械器具製造業	372,960	19,083	550,642	0.429	16,590,604	5.4	29,879	-2,689,948	3,369,924	8,962	6,141,412	11,153	
00	全国計 27 業務用機械器具製造業	372,960	4,159	204,404	0.159	7,033,631	2.3	33,628	-977,384	1,175,141	7,084	2,730,669	13,259	
00	全国計 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	372,960	4,267	382,110	0.298	13,817,602	4.5	36,030	-1,906,161	3,846,200	11,064	4,861,944	12,724	
00	全国計 29 電気機械器具製造業	372,960	8,953	481,936	0.376	17,031,700	5.6	34,784	-2,353,034	2,900,621	7,232	5,819,008	12,074	
00	全国計 30 情報通信機械器具製造業	372,960	1,501	151,851	0.118	8,627,907	2.8	56,169	-842,473	805,410	5,814	2,175,357	14,326	
00	全国計 31 輸送用機械器具製造業	372,960	10,415	980,505	0.765	60,063,334	19.7	61,250	-5,582,165	8,904,499	10,004	16,764,156	17,097	
00	全国計 32 その他の製造業	372,960	7,446	148,326	0.116	3,933,151	1.3	26,007	-564,231	693,939	8,194	1,496,969	10,092	
01	北海道 00 製造業計	78,453	5,464	164,716	3.033	6,672,809	100.0	38,776	-568,909	1,217,518	10,848	1,432,686	8,698	
01	北海道 09 食品品製造業	78,453	1,890	75,567	1.391	1,984,584	29.7	25,788	3,499	198,134	399,421	6,976	521,935	6,907
01	北海道 10 飲料・たばこ・飼料製造業	78,453	169	3,388	0.062	225,211	3.4	52,265	1,073	13,306	53,081	30,248	52,876	15,607
01	北海道 11 繊維工業	78,453	169	3,042	0.056	27,584	0.4	8,762	0,330	7,074	3,320	2,483	13,068	4,302

経済産業省 平成26年(2014年)工業統計調査 工業地区編より

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2/h26/kakuho/kogyochiku/index.html>

産業をささえる港

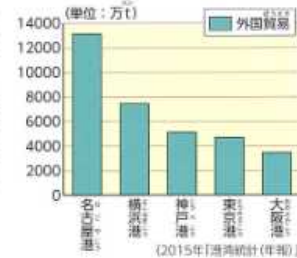
工業地帯や工業地域の製品をコンテナ船など

工業と港

船が活やくしているのは、外国との貿易(輸出・輸入)だけではありません。国内でも重いものを一度に大量に運べるので、船が使われています。そのため、海ぞいに工業地帯や工業地域が広がり、貨物を積みおろしする港がたくさんあります。

港に届いた貨物はトラックなどに積みかえられて、工場へ届けられます。工場では運ばれてきた原料や材料、燃料を使って工業製品をつくります。できあがった工業製品を、今度は港から外国や日本各地に送ります。たくさんの原料を運びこむものにも重い製品を運び出すのにも船は便利なので、港の近くに工場や会社が集まります。

日本の主要5港の貨物量

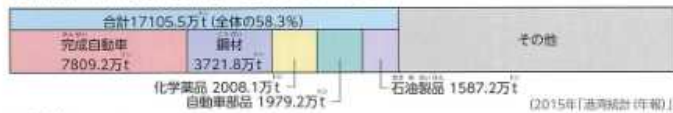


名古屋港は本州の中央に位置しているんだよ!

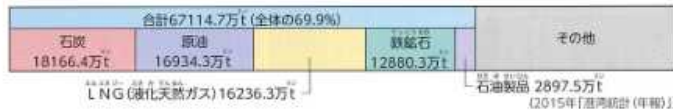


工業地帯・工業地域と港

輸出(日本の港から外国へ運ばれていくもの)



輸入(外国から日本の港に運ばれてくるもの)



おもな港と取りあつかう貨物量の多い港ベスト10(2015年)



日本の港の数

日本には漁港をふくめると約4000の港があり、そのうちの約1000が人や貨物を運ぶための港です。なかでも京浜港(東京港、川崎港、横浜港)、阪神港(神戸港、大阪港)の5つは国際船舶港湾といって、国際海上コンテナ輸送の拠点として国が定めた特に重要な港です。

国土交通省 港湾局 監修/全国小学校社会科研究協議会 推薦
公益社団法人 日本港湾協会 発行
『港の大研究 くらしをささえる港の役割を知ろう!』p6-7より

資料4 輸出入の船舶貨物品目別統計

**3 わが国の品目別
海上貿易量及び貿易額**

(単位：千トン、億円)

わが国の貿易は原材料やエネルギー資源に加え、白物家電や衣類などの消費財を輸入し、機械や自動車といった付加価値の高い製品を輸出する構造となっている。
重量ベースでは、輸入が82.2%を占め、このうち3/4以上を液体貨物、石炭、鉄鉱石が占めている。一方、金額ベースでは輸出の割合が48.9%にのぼっている。

出典：国土交通省海事局
(注)端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

品目	年	2018年		2019年		対前年比(%) (数量ベース)
		数量	金額	数量	金額	
輸出入合計		919,843	1,174,616	897,581	1,112,487	▲ 2.4
輸	総計	161,637	574,323	159,656	544,506	▲ 1.2
	鉄鋼	36,113	34,167	33,410	30,543	▲ 7.5
	セメント	10,653	361	10,322	372	▲ 3.1
	機械類	13,621	197,062	12,746	180,226	▲ 6.4
	乗用自動車	6,201	109,329	6,205	106,763	0.1
	電気製品	1,494	53,778	1,332	50,881	▲ 10.9
	肥料	476	120	507	123	6.4
	その他	93,079	179,506	95,135	175,598	2.2
入	総計	758,206	600,293	737,925	567,981	▲ 2.7
	乾貨物計	488,294	437,405	479,897	425,151	▲ 1.7
	鉄鉱石	123,852	10,296	119,561	11,883	▲ 3.5
	石炭	189,320	28,121	186,178	25,282	▲ 1.7
	燐鉱石	219	47	194	43	▲ 11.2
	塩	7,301	308	7,583	350	3.9
	銅鉱	5,248	10,407	4,788	8,931	▲ 8.8
	ニッケル鉱	3,661	240	3,844	239	5.0
	ボーキサイト	43	21	50	25	18.2
	木材	6,425	4,072	6,042	3,566	▲ 6.0
	バルブ	1,713	1,702	1,717	1,468	0.3
	チップ	12,449	2,520	12,171	2,600	▲ 2.2
	小麦	5,652	1,811	5,331	1,606	▲ 5.7
	米	672	543	679	534	1.0
	大麦・裸麦	1,264	385	1,148	352	▲ 9.2
	トウモロコシ	15,802	3,721	15,983	3,841	1.1
	大豆	3,236	1,701	3,392	1,673	4.8
	その他	111,361	371,470	111,235	362,759	▲ 0.1
	液体貨物計	269,912	162,888	258,028	142,830	▲ 4.4
	原油	148,957	89,036	146,588	79,667	▲ 1.6
LNG	82,852	47,389	77,327	43,498	▲ 6.7	
LPG	10,734	6,908	10,519	5,327	▲ 2.0	
重油	2,536	1,423	1,084	599	▲ 57.3	
その他	24,834	18,131	22,510	13,740	▲ 9.4	

重要港湾位置図

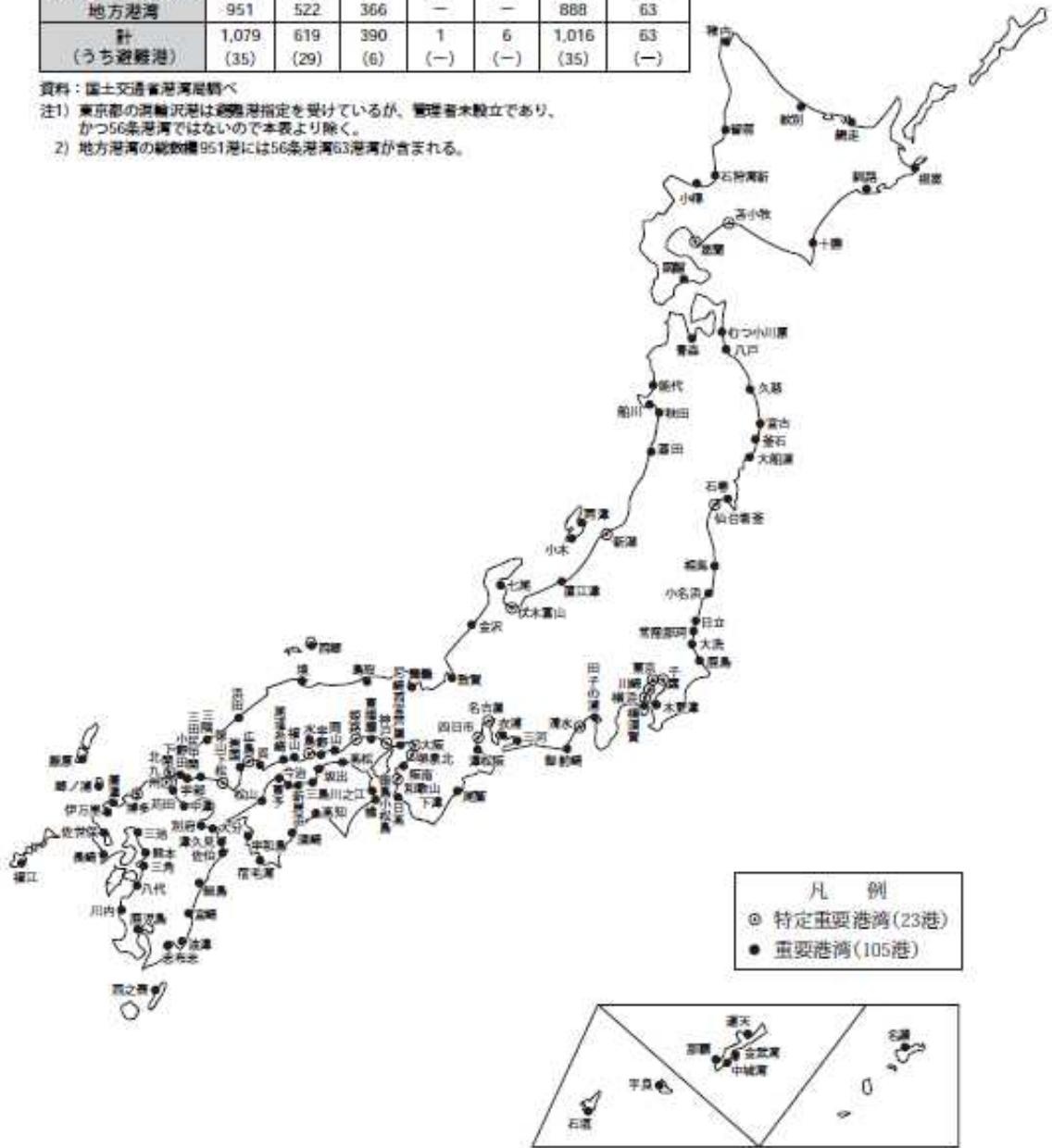
■港湾数一覧

(2005年4月1日現在)

区分	総数	港湾管理者					56条港湾
		都道府県	市町村	港務局	一部事務組合	計	
重要港湾 (うち特定重要港湾)	128 (23)	97 (12)	24 (8)	1 (-)	6 (3)	128 (23)	- (-)
地方港湾	951	522	366	-	-	888	63
計 (うち避難港)	1,079 (35)	619 (29)	390 (6)	1 (-)	6 (-)	1,016 (35)	63 (-)

資料：国土交通省港湾局調べ

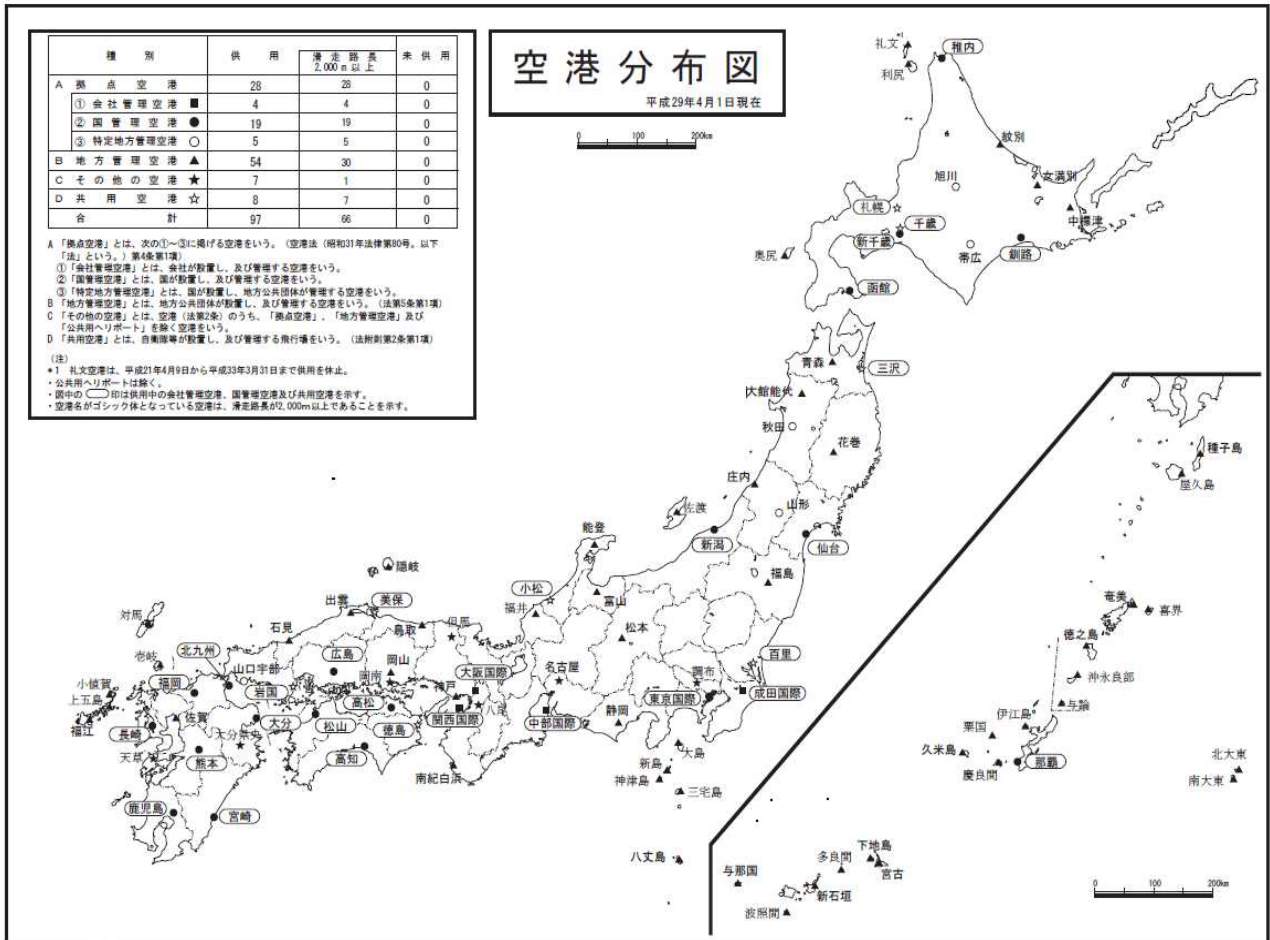
- 注1) 東京都の羽輪沢港は避難港指定を受けているが、管理者未設立であり、かつ56条港湾ではないので本表より除く。
 注2) 地方港湾の総数951港には56条港湾63港湾が含まれる。



国土交通省 「重要港湾位置図」

http://www.mlit.go.jp/kowan/yosan/h18_050831/005.pdf

資料6 日本の空港地図



国土交通省航空局

国土交通省 『国土交通白書 2020 資料編』
資料 13-8 「空港分布図」

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r01/hakusho/r02/data/html/ns013080.html>

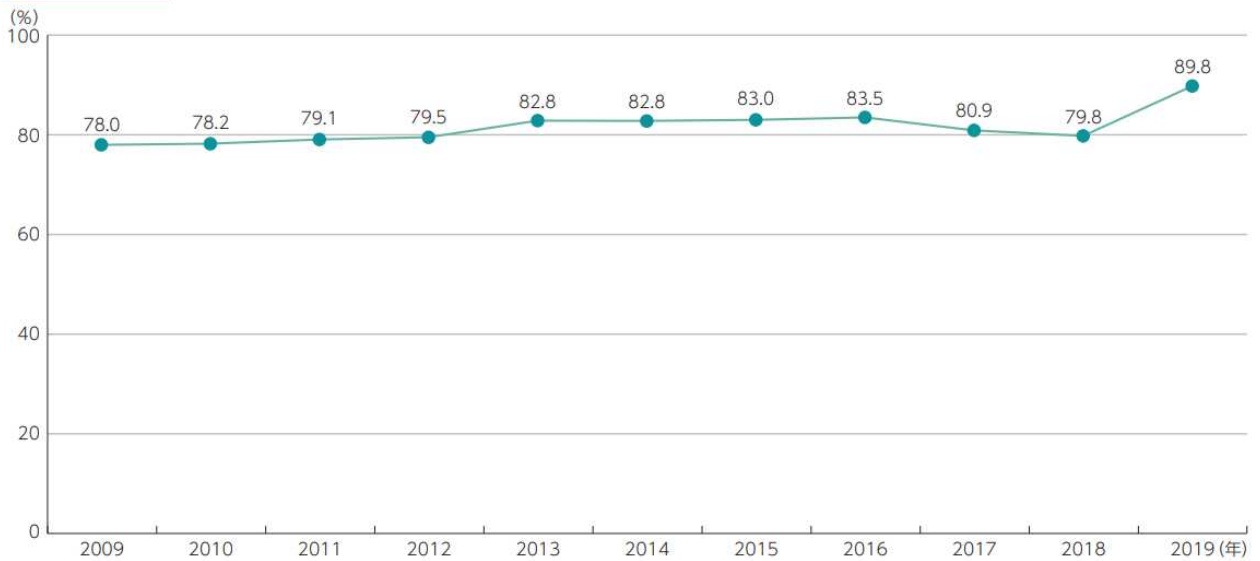
成田空港における国際線ネットワーク（2014年夏ダイヤ）

○ 成田国際空港はアジアと北米をつなぐ「結節点」、世界100都市と結ばれているネットワークが強み



資料8 インターネット利用率

図表5-2-1-3 インターネット利用率の推移



(出典) 総務省「通信利用動向調査」

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

総務省 『令和2年版 情報通信白書』

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/pdf/n5200000.pdf>

資料9 ネットショッピングの利用世帯割合と1世帯当たりの支出総額の推移



注 2015年以降、調査項目を変更したため、2014年以前のデータと時系列で比較する際には注意が必要。

総務省 『平成29年版 情報通信白書』

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc112320.html>